夢のつばさ

函南町立函南小学校　学校便り　特別号
学校教育目標　夢に向かい　ともに　学び続ける子
重 点 目 標　自ら動く　高め合う
合 い 言 葉　みんなで一歩

令和８年度学校評価アンケート（前期）集計

※評価について　AとBの百分率合計が９０%以上→◎、８０%以上→○、６０%以上→△、６０%未満→×

評価項目	児童	保護者	職員	総合
①児童は、家の人や近所の人に、自分からあいさつをしている。	◎	△	○	○
②児童は、学習・生活・行事等において、めあてをもって取り組み、挑戦し続けている。	◎	○	◎	◎
③児童は、運動・音楽・芸術を楽しんだり、地域行事に参加したりしている。	○	○	○	○
④児童は、必要なときに本を読んだり、図書室や図書館を利用したりしている。	○	△	○	○
⑤児童は、函南町の伝統文化や産業などについて知り、地域に愛着を感じている。	△	×	△	△
⑥学校は、家庭や地域に必要な情報を発信し、教育方針や活動への理解を得ている。		○	◎	◎
⑦学校は、学校運営協議会と連携し、地域と協力して教育活動を行っている。		◎	◎	◎
⑧学校は、PTA と連携し、保護者と協力して教育活動を行っている。		◎	◎	◎
⑨学校は、学校ボランティアや町内施設を活用し、教育活動の向上に努めている。		◎	◎	◎
⑩児童は、楽しく学校生活を送っている。	◎	◎	◎	◎
⑪児童は、夢中になって取り組めることがある。	◎	◎	◎	◎
⑫児童は、自分にはよいところがあると感じている	○	○	◎	○
⑬児童は、学習への見通しをもち、問いをもって学んでいる。	○	○	○	○
⑭児童は、対話を通して、学びを深めている。	○	○	○	○
⑮児童は、学びを振り返ったり、既習内容をつなげたりして、学びを高めている。	○	△	◎	○
⑯児童は、学級活動を通して互いのよさを認め合い、自分や友達は大切な存在だと感じている。	◎	◎	◎	◎
⑰児童は、話合い活動を通して考えを伝え合い、コミュニケーション能力を高めている。	◎	○	○	○
⑱児童は、外遊びや睡眠、食事、メディアとの関わりを考え、体力の向上に取り組んでいる。	○	△	△	△
⑲児童は考え、選び、決定したり、認められたりする体験を通して自己肯定感を高めている。	○	○	◎	○
⑳児童は、挑戦したことを褒められたり、感情をコントロールしたりする学習を通して、心のしなやかさを身につけている。	○	△	◎	○
㉑児童は、健康キャンペーンや情報リテラシーの学習を通して、健康の保持増進に努めている。	◎	◎	◎	◎
㉒児童は、バランスよく食べることの大切さを理解している。	○	△	△	△
㉓児童は、災害の状況に応じた安全な行動を理解している。	◎	○	◎	◎
㉔児童は、すこやか通帳などで自分の健康や生活に応じた目標を立て、実践し、振り返っている。	○	△	◎	○

令和８度学校評価アンケート（前期）考察

◇①～⑤の項目は、『函南スタンダード』と呼ばれ、函南町内の小学生が共通して目指していく姿です。数値の低かった「⑤函南町のよさ」の項目については、総合的な学習を中心に函南町や自分の生活につながる学習を進めていきます。また、地域と連携し、魅力的な教材開発に努めていきます。

◇「⑩楽しい学校」については昨年同様高い評価となっています。行事や異学年等との関わりの中で一人一人が自信をもち、前向きに行動する姿が見られます。２学期に向けて縦割り活動や行事等、他学年と関わる機会を増やし、⑫「自分のよさ」へつなげる活動を進めていきます。

◇⑬～⑮の『学習』の項目については、学ぶ目的をもって粘り強く学ぶ姿や学んだことを見直したり、次に生かしたりしながら調整して学習を進めていけるような環境の設定や支援を進めていきます。また、AI ドリルの活用については、学びの効果を検証しながら、発達段階に合わせた柔軟な指導を検討していきます。

◇「⑱心身の体力向上」については、猛暑日や雨の日が多く、外遊びの日が少なかったことも影響していると考えられます。体育館を開放し運動する場を確保したり、委員会活動を中心に様々な遊び方を提案したりと体を動かす楽しさや方法を提案していきたいと思います。

◇「⑳心のしなやかさ」については、学校、家庭の両面から肯定的な声掛けや認める場面を増やすことで子供たちの自己肯定感を高めていきたいと考えています。そのため、学校では本年度から実施している SEL の取り組みを保護者へ積極的に発信し、ほめる視点や認める姿をお伝えしていきたいと考えています。

前期アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回の結果をもとに学校と保護者、地域が連携して子供のよりよい学びを支えられるよう努めていきたいと思います。今後もご理解、ご協力よろしくお願いします。